

# 桐鈴凜々

第102号  
平成27年7月10日発行  
発行責任者  
社会福祉法人 桐鈴会  
理事長 黒岩秩子  
南魚沼市浦佐 5142-1  
電話 025-780-4118  
FAX 025-777-3731  
e-mail  
info@toureikai.com  
<http://www.toureikai.com/>

## 「始めの一步」

工房とんとん利用者 寺口こずえ  
～昇降機で自力帰宅が出来るようになるまで～



昨年6月から工房とんとんに週2回お世話になっています。作業はカフェのメニューを書いたり売上計算や布切をしています。

JRを利用したい理由は特別支援学校高等部のときから単独で電車に乗っていたこと。自宅の塩沢から距離があり送迎に時間がかかる両親の負担を軽減したかったからです。JR浦佐駅の在来線にはエレベーターの設置がなく、車いすの方は「昇降機」という機械（写真）に乗ってホームまでの階段を下りています。

浦佐駅駅員の皆様のご協力のもと、今年の4月8日から帰宅時のみ電車通勤が可能となりました。ご配慮いただきありがとうございます。次の文章がこれまでのいきさつなどです。

「無理です」「できません」。浦佐駅改札口で対応してください。浦佐駅改札口の対応してくださった駅員さんの声が聞こえてきました。

昨年の9月中旬、「とんとん」からの単独帰宅の練習。久しぶ



りに電車に乗るワクワクする気持ちと、エレベーターは初めて利用するので少し緊張していました。でも東口に降り立ち、改札口へのエレベーターも操作でき切符も買うことが出来たし、

## 桐鈴会の理念

・終のすみかを目指す  
・「迷惑をかけ合える関係」を目指す  
～高齢者、しょうがいしゃ、子どもたちが  
安心して住める地域を創ろう～



あとは駅員さんさえ対応してもええたら何も問題はないと思っ  
ていました。

「今回は特別に対応します  
が、今後については対応出来ま  
せん」。昔は前日に利用する旨の  
連絡を入れておけば対応してい  
ただけたのになぜ、どうして…。



職員さん2人に  
見守られて…

移動介助など少し手助けし  
てもらえれば、電車利用ができ  
ることが分かっているだけに列  
車時間を待っている間、涙を必  
死にこらえています。支援セ  
ンターの相談員さんと駅員さん

の介助で列車に乗り、この日は  
帰宅しました。両親、相談員さ  
ん、私自身、皆が同じ思いを抱  
いていたと思います。「対応さ  
えしてもらえれば」。

対応出来ない理由は、駅員が  
4人しかいないため業務だけで  
手いっぱい、車椅子の介助対  
応に人数をかけられないとい  
うことでした。（昔は6～7人  
くらいは勤務していたように記憶  
しています）

電車を利用することも自動  
車を運転することも難しいとな  
ると、私1人での単独行動は出  
来ないこととなります。電車に  
乗って1人での外出を考えてい  
た私には大きなショックでした。  
「このままでは良いことでは  
ないので何とかしたいと思  
います」。相談員さんは私を励まし  
ようにこう言ってくださいまし

た。

このことは南魚沼市の自立支援協議会（南魚沼地域の障がい者が安心して地域で暮らせるような仕組み・体制・資源について話し合う場）でも取り上げられて、在来線ホームのエレベーター設置や今の体制でも何とか駅利用が可能となるよう、浦佐駅やJR東日本にお願いして頂きました。

そのおかげもあって、今年の4月から、浦佐駅でも勤務体制を見直すなどした結果、何とか対応して頂けることになり単独帰宅が実現しています。

ホームに降りる階段は昇降機を使って降ろしてもらいます。床面のデコボコで振動が少しあるのと移動に時間がかかってしまうことが難点です。ホームに移動している時、通りがかりの



カフェにて接客中の寺口さん。とびきりの笑顔！

人が物珍しそうにこちらを見ている時があります。バリアフリーが盛んに叫ばれています。車椅子の人間自体を見かけることがまだまだ少ないのだと思ってしまう。車椅子の人間も含めて障がい者がいても、気にならない社会を作っていくかなければと思います。電車に乗り込む時も、折り畳み式のスロープを見て小学生が何かつぶやいていました。ごく普通に電車に乗るといふ行動ですが、自分とは異なる人の事を考えるきっかけになってくれるといいなあと思っています。

「車椅子の方が乗られます、立ち止まらず進んでください」と駅員さん。「すみません、ありがとうございます」と乗り合わせた人に私。「じゃあ、お気を付けて」と駅員さん。「ありがとうございます」と私。こんなやりとりを週2日かわしています。駅員さんはじめ周囲の方々に少しご迷惑をおかけしていますが、こんな人間がひとりくらいいてもいいのではないかと勝手に考えています。「とんとん」にお世話になら

ず、自宅に近い施設に通所していたらこの問題に出会うことは、なかったかもしれません。私自身に必要なから、このようなことになったのではないかと思っています。

駅の利用は出来るようになる

### 訃報 ケアハウス鈴懸入居者斎藤カネさんご逝去

#### 「カネさんの恋人」からのメッセージ

桐鈴会顧問 黒岩卓夫



斎藤カネさん、あなたはこの5月11日午前7時20分にこの世から旅立ちましたね。施設長とヘルパーさんが看取りましたね。実家から駆けつけたお二人は10分ほど間に合いませんでした。

カネさん、あなたは鈴懸に入居するまでは小千谷に住んでいました。私は、縁あって、小千谷の尼寺に月1回でかけ、住職さんとその周りの何人かの診察をしていました。後になって河田瑠子さんが道をつけた「地域のお茶の間」がお寺で実現していたわけですね。このお寺のお茶の間は、尼さんを囲んでとて

りましたが、在来線ホームのエレベーターの設置にはもう少し時間がかかりそうです。南魚沼地域が誰もが暮らしやすい地域になるために、私自身ができることをしていこうと思います。

も楽しいひとりで、皆がこの日を心待ちにしてくれました。ところがカネさんは、ここに集まる人たちと知り合いだったのに「人の集まるところはイヤ」ということで、お寺の帰りにカネさんの家に立ち寄ることにしていました。

カネさんはご主人を数年前に亡くし、お子さんがいないので養子さん一家が2階に住み、カネさんは1階の部屋にひっそりと暮らしていました。

#### 物静かで上品な人

文字通り上品な物腰の静かなご婦人でした。その頃は、星野房さんが看護師として同行し

ていましたが、診察が終わるとお茶をご馳走になりました。会話が弾んだわけではありません。しかし、折に触れ、小さな土産を用意してくれました。

カネさんが娘さんのころは東京にいて美容師だったとのこと。その頃のこと話になるとうつすらと紅潮し、目の光も違ってきたので、乙女心、恋心の時代だったなとほほえましく眺めていました。

そして東京から実家に帰ってきたのですが、おそらく乙女の淡い思いを断ち切ったの帰郷だったと思います。結婚して夫は靴屋さん、カネさんはパーマ屋さんの共稼ぎになったのです。

夫と死別し閉じこもりの生活になってしばらくして、桐鈴会ができ、《鈴懸》が入居者募集をすることになり、私ができることとお話ししたと思います。

カネさんの実家は郊外にある有名な旧家とのこと、小千谷への想いには深いものがあつたと思います。しかし、カネさんは決意して開設時に入居しました。実はそれまでのカネさんの病状はうつ傾向と思われていたの

ですが、入居してからは少しずつ様子が変わってきました。ある夜、うつ傾向とは対極の《躁》とも思われる状態が現れました。夜中に自分の部屋から廊下に出て、フロア全体に響き渡るような大声で歌を歌いだしたりしたのです。スタッフも私も驚き、とにかく専門医に診てもらおうことになり、小出病院に入院となりました。



「黒岩先生の赤ちゃんを産んだ」というカネさん

### 恋心あふれる人に変身

これまでは専門医も「うつ傾向」と診断していましたが、今回は「うつ」の病名が消え、認知症とのことでした。そしてせん妄時などに有効と言われる内服薬少量で、落ち着きました。しかし、しばらくカネさんの様子を見てみると認知症でも少し変わった「前頭側頭型認知症」

であることに気が付きました。これは、反社会的、反抗的、人格障がい、同じことを繰り返す常同行動、甘いものだけを欲しがると言った趣向偏向などが症状です。

このあたりからカネさんの第3の人生が始まったと思います。それまでのうつ傾向に別れを告げたのです。先ず抑圧された心情がなくなり、私には特別な感情を表すようになり、手を握ったり抱きついたり、「先生の奥さんだ」と言ったりするようになりました。

青春の想いをうつ的な姿で封印していた過去の心情が、うつから躁状態を経て「認知症」に変身したのです。あたかもつきものが取れたように、乙女の頃の一途な心境に立ち返り、その対象が私になったに過ぎないと思えました。カネさんの新しい人生が始まったと思います。

### うつも認知症も人生の糧に

カネさんは、乙女の逍遙する心の抑圧から解放されるために、認知症、しかも反抗的、反社会的ともいえるタイプの認知症を選んだのではないのでしょうか？

それからしばらくして、最後の人生のステージ。眠っている、目を覚ませば声を出し、甘いものに執着したり、車いすで部屋から出て、すぐに「帰る」と言って部屋に戻る。そういった生活を黙々と営みながら、メンタルもそう低下することなく、最後を迎えました。

カネさんは「華」のある自分らしい人生を歩み続けたと思います。いずれ私もまいります「あの世」で、第4の人生を遠慮せず歩んでください。

### 「紹介します」

### 桐鈴会の事業

### ○グループホーム桐の花

### 「共用型デイサービス」

平成20年から桐の花の共用空間を利用した、認知症対応型の通いのサービスを行っています。

1日の利用定員は3名で、営業は、月曜日から土曜日の9時から17時までですが、相談に応じ延長も可能です。もともとある施設設備を使

うので、利用料は一般型のデイサービスの半額程に設定されています。

グループホームの入居者の方と一緒に、その方の希望や力に応じて、穏やかに過ごしていただきたいと思っています。

現在利用されている方は男性が多く、週2〜3回、桐の花を利用し、体操や手作業よりも、新聞を読んだり、お茶飲み話を楽しまれ、笑い声が聞こえています。



デイサービス時の様子。会話も弾む

女性の方は1名で、週1回利用されています。洗濯、茶碗拭き等の家事や入居者の方の話し相手になり、手伝いを張り合いに一生懸命です。  
昨年からの送迎を始め、お蔭さ

まで利用される方が増えました。まだ若干の空きがありますので、ご希望の方はご相談ください。

（連絡先グループホーム桐の花、Tel 780-4110）

最後になりましたが、送迎担当の職員、湯本を紹介します。

昨年からは、朝・夕と1時間程出勤してもらっています。地元の方なので、この辺の地理に詳しく助かっています。桐の花では、数少ない貴重な男性職員なので、頼りにしています。

（管理者 関 和香子）

### ○「鈴懸おはようヘルプ」

当訪問介護事業所「鈴懸おはようヘルプ」は6月に12周年を迎えました。

開設当初は4人のホームヘルパーで在宅生活のサポートをしてきましたが、今では11名の広い年齢層のスタッフが日々活躍しています。

鈴懸の入居者が終の棲家として最期までケアハウスでの生活を送れるためには、なくてはならない存在となっています。又、鈴懸以外の在宅の訪問にも携わり、大和地区を中心に訪問して

います。（小出地区・六日町地区は応相談）

指定障害者福祉サービス事業も行っておりますので、いつでもお気軽にご相談ください。

スタッフ一同、安心・満足・真心・笑顔をお届け致します。

場所 ケアハウス鈴懸2階

営業日 年中無休

営業時間 7時〜21時

☎ 780-4512

（管理者 森山栄子）



### ○「工房とんとん」

以前、毎日新聞で記事を載せてもらったことから、6月、NSTの方が取材に来てくれました。パン工房のメンバーさんも職員も緊張していましたが、インタビューに堂々と答えたり、一生懸命に作業をしている様子が、6月9日（火）夕方のニュースでいきいきと放送されました。工房とんとんを知ってもらい良い機会になったと思います。

（生活支援員 パン班

中村和子）



グループホームひまわり  
「中澤さん還暦祝い」

ひまわり生活支援員

富永なつみ

めでたく還暦を迎えられたのは、開所当時から入居されている中澤勇士夫さんです！中澤さんは髪は茶髪で、還暦とは思えないほど若々しいファッションの方です！



赤いちゃんちゃんこの中澤さん

4月21日お寿司や唐揚げ等ご馳走がたくさん並ぶ中、普段の服装とはかけ離れた赤いちゃんちゃんこを着た中澤さんの姿がありました。ひまわりは男性のみの家ですが、この時は中澤さんの周りを女性職員が取り囲みハーレム状態で、喜んでいただけだ（？）と思います。

ご本人に感想を聞いてみると「人生の節目。今後の人生を楽しもうと思う。」とのことでした。裏の畑の野菜を育てる事や趣味のジャズを楽しみたいそうです。中澤さん！おめでとうございます！

## 工房とんとん

### 「日帰り旅行」



### 工房とんとん職業指導員

小川菜摘

6月10日(水)に「とんとん日帰り旅行」に行つて来ました。レンタルしたバスなど計4台、39名で晴天のもと出発。途中、道の駅「雪あかり」に寄り、バーベキュー会場の岩原ピットインに到着しました。

ピットインの方がお肉や海鮮、野菜等(他に飲み物、デザートもあり)を用意してくださいだったので、それらを焼き、とんとんから作っていった塩にぎりと一緒に、みんなでワイワイと食べました。外で皆で食べるご飯はとても美味しかったです。食べ終わって少し周りを散歩し

た後、車に乗りアルプの里に向かいました。

アルプの里では、166人乗りのゴンドラに39名全員乗り、高いところを怖がる人や写真を撮る人など、車中の7分間を楽しみました。頂上でゴンドラを降りると少し涼しい空気と見晴



らしの良い景色がありました。ソフトクリームやかき氷を食べたり、時間があつたので周りを散歩したりしました。ゴンドラで降りてお土産を買うときは、皆目を輝かせていました。帰りの車では歌を歌ったりしましたが、疲れて寝ている人

もいました。思い出に残る旅行となりました。

ひまわり夜勤体制スタート  
“おじさん世話人”

ひまわりは開設当初から4年間、朝晩に世話人が勤務しているだけで、夜間は職員がいなくなり、利用者の方だけで過ごしていました。眠剤を服用するためにトイレに起きられない方、利用者同士のけんか、体調不良時の対応等、夜間の支援が必要なくなることが増えてきました。そこで、現在、2人の男性世話人が交代で夜勤をしてくれています。

### ○島村 弘

高校で書道の先生をしています。まだ若い64歳！体調が悪くなるといつもすぐに実家に帰っていた利用者の方が朝「仕事、頑張つてこいや」と声をかけてもらうことで、帰らずに仕事に行けた。これは私たちにとつてはすごい事！安心できたのだと思います。

### ○佐藤久雄

ひまわりの裏の畑を利用者の中澤さんが今まで1人でやっていましたが、2人で朝一緒に世話するのが日課になりました。もうすぐ、ミニトマトとナスが食べられそうです。

ひまわり始まって以来の男

## 工房とんとんNEWS

### カフェ・ランチ・パンの店



#### ○おすすめパン

☆塩パン ¥100

国産小麦を使った今人気の塩パン！

とんとんオリジナルです！

☆おやし(ずんだ) ¥150

季節限定のずんだ(枝豆)あんの商品

#### ○フェイスブックのお知らせ

工房とんとんでは、カフェやパン、生活介護の様子などをフェイスブックで紹介しています！ぜひ、ページを登録していただき『いいね！』をお願いします。

[www.facebook.com/kouboutonton](http://www.facebook.com/kouboutonton)

[suzucafeable](https://www.facebook.com/suzucafeable)



## 新入居者紹介

ケアハウス鈴懸入居者

山田ヒサ子



「陽に抛りて  
違う姿の

八海山」



夕食後のひまわり「のんびりタイム」

性職員で最初はどうなるか心配でした。しかし、夕食後はすぐに部屋で過ごしていた利用者の方も夜勤の世話人が出勤すると茶の間に集まり、コーヒータイムをしているところをみた時、私の不安はふつとびました。

(管理者 小林裕子)

私は娘夫婦の配慮により、他の施設から入居しました。こちらにはすべての面で驚くことばかりです。衛生面にはじまり、食事、サービスタと文句のつけようがありません。

平成26年1月9日、私は全身火傷で、4ヶ月間ほど意識不明だったらしく、あの世とこの世をさまよっておりました。こうして生きていることが千人に一人という奇跡だそうです。新大病院のお医者さま方も「助からない」という覚悟で引き受けてくださったこともあって、病院側のプライドに懸けてもと、6人のドクターが必死で治療に当たってくださいました。朝は早くから、テレビドラマさながらの回診。大病院なのに「ありがたい」と感謝致しております。教授回診の時、若いドクターが何か質問したことに答えて、「どうせこの人は死ぬから」という言葉が私の耳に聞こえてきましたので、「私はぼけていませんよ」と言いましたら、先生がびっくりしておられました。「おお、大した玉だなあ」とお帰りになられました。色々身内

の都合もありまして「ゆきぐに大和病院」に転院する時、リハビリの教授が若い学生を集めて「この人は顔を6回も手術した人だよ」と説明していました。何にも聞かされていなかった私はびっくりしました。形成の女医さんは「私どもがいくら頑張っても日数をかけなければだめなのよねえ」とおっしゃられました。新大のドクターと神様のお恵みによって取り戻した命、諸先輩のご指導の元、今少し生きたいと思えます。どうぞよろしくお願いいたします。

## 「サカキマンゴー」

ライブIn 夢草堂

工房とん生活支援員

井口節子

6月5日、私は生活介護のメンバーさんとサカキマンゴーさんのライブに参加した。「サカキマンゴー」?! 何だか美味しそうな名前だ。一体どんな方なんだろう…。胸を高鳴らせながら開演を待った。夢草堂のほどよい薄暗さの中にシルエットが浮かんだ。真っ赤なシヤツを纏い、髪は炎のように煌め

いていた。サカキマンゴーさんはアフリカの大地を照らす太陽のようであった。

サカキマンゴーさんは鹿児島県出身。アフリカ楽器(親指ピアノ)と鹿児島島の板三線(ゴツタン)の演奏家である。民族音楽を演奏するだけでなく、現代のアフリカの大衆文化はもとより、最先端のロックやポップスなどの融合を積極的に展開している。さらに生まれ育った鹿児島方言や俗謡の要素も組み込むなど、独自の音楽を追求している。

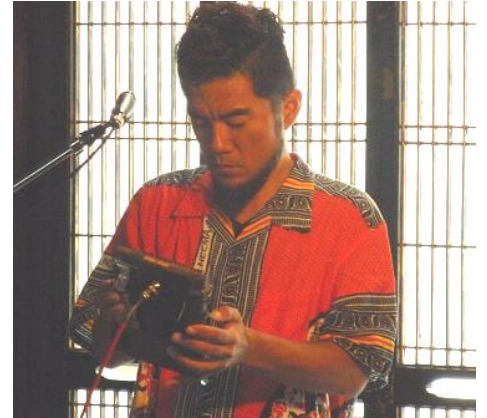
ライブのオープニングは親指ピアノ(共鳴箱の上に長い金属を並べ、両手の親指の爪で弾いて演奏する楽器)を演奏しながら歌い始めた。マンゴーさんの斬新奇抜な出で立ち、野性的な歌声、聞き慣れないスワヒリ語に皆呆気にとられ放心状態になっていた。それを察したマンゴーさんは、「私の名前はサカキマンゴー、自己紹介をしています。もう一度するので拍手をお願いします♪」と呼びかけた。一同笑顔になり、張り詰めていた緊張が解けた。演奏の途中で急に白目になり全身を硬直させたり、面白おかしくトークをしたり

と、いつの間にかマンゴーワールドに全員が引きこまれていた。

サカキマンゴーさんが奏でた楽器は、親指ピアノの他、ンドノ（弓に張った弦を棒で叩いて演奏する楽器）や、カヤンバ（細い木の枝で蛇腹に組んだ洗濯板のような楽器）と、初めて目にするものばかりであった。これらの楽器は私たちが言うところの「廃物」を材料にして制作されている。日本人は無いものを「買う」が、アフリカ人は「作る」という。「手作り」の意識が高い。アフリカ音楽は、現地の人の日常生活に強く密着しているのだ。

何とも言えぬアフリカ楽器の音は余韻にも奥行きがあつて、聴く者と夢草堂との間にできた空間の中で心地良く反響していた。私の隣にいた井口健彦さんは、天井の欄間彫刻とアフリカ音楽の調和を心から満喫していた。

実はサカキマンゴーさんのお名前は以前から存じていた。NHKの番組「妄想ニホン料理」（大ファンで毎週欠かさず見ていた）の主題歌「茶碗蒸しのグンビア」を担当されていた。私と娘は、初めて聴いたときから自然と口ずさむこ



アフリカの太陽のように、夢草堂を照らすサカキマンゴーさん

とが多かった。マンゴーさんとはただならぬ運命を感じずにはいられなかった。早速CDを購入し、マンゴーワールドに魅了される日々を送っている。

最後に「Sakaki Mango wasante! Kuona wewe mahali fulani!」（サカキマンゴーさん、ありがとう！またどこかでお会いしましょう！）くすワヒリ語く

「妻 由里恵を想って」  
工房とん利用者  
大桃春彦

平成27年4月6日、私の妻、由里恵が帰らぬ人となってしまいました。ガンでした。46歳という若さでした。今年の7月はじめまで

何の兆しも無く元気でした。その年の3月に入籍し、4月に新婚旅行に行き、5月に結婚記念の写真撮影をしたばかりでした。7月の中旬くらいから「何だか胸のあたりが苦しい」と訴えはじめ、病院で検査した結果ガンだと告げられました。まさに青天の霹靂でした。今でも信じられない。何が起きたのか分からない。まるで夢を見ているような、そんな気持ちです。

妻がガンだと分かってから約8カ月の間の闘病生活でしたが、妻はガンの痛みと副作用に耐えながらも、先生にも看護師さんにも家族にもありがとう、ありがとうと言っていました。自分が一番辛いはずなのにいつも周りの人に気を配り、「春ちゃん、あんまり長くいると疲れるから帰っていいからね」とか、「お母さん、今日はお母さんの何々の日じゃない？」など自分の事より周りの人の事を気にかける、本当にやさしい人でした。

私は絶望に打ちひしがれそうになりながらも、絶対に治ると信じ、毎日、一日に2回も3回も病院に通い、ガンに関する本を読み漁り、ネットで調べ、健康に良いもの、ガンに効くものを買って妻に作っ

てあげたり実践しました。炊事洗濯掃除もしました。よく眠れない日も続きました。このままでは私の方が先に逝ってしまうのではないかと。私は自分の命に代えても妻を救いたかった。最後の方は病室のベッドの所で、ただただ妻の手を握り祈るだけでした。

ガンの痛みと副作用の辛さは想像を絶するほどのものだったと思います。でも妻は最後まで一度も人に当たったりすることがありませんでした。本当に立派だったと私は妻を褒めてあげたい。

私たちはお互い統合失調症という障がいを抱えていましたが、結婚することができました。そこに行き着くまでの道のりは長く険しいものでした。いくつもの困難を乗り越え、やっとの思いでたどり着いたのでした。

平成24年12月、念願のアパートを借りて、2人の生活がスタートしました。約2年と数カ月間のアパートでの生活でしたが、本当に幸せな毎日でした。時計が壊れてしまったかのように日々が過ぎました。しかし、その思い出はそのどれもが一つ一つ鮮明にキラキラと輝いて、今も私の胸の中にある

ます。今、涙が出ています。妻とまた幸せな日々を送りたい。

とんとの皆さんからは、告別式の時、大勢駆けつけていただきました。仕事で当日来られなかった方も後日アパートに来てくださり、お参りをしてくださいました。

本当に心からお礼を言いたいです。

妻は言っていました。「とんとんでの仕事は本当に楽しい。仕事をしていてこんなに楽しいと思っただのは、障がいを持ってから初めてだ」と。「良くなったらまたとんとんで仕事がしたい」と。私は今、妻のやっていたカフェでの仕事をしています。妻のやりたかったことを、私が代りにしてあげることが供養になるのではないか。そんなふう考えたからです。四十九日が終わってから、私はまた工房とんとんに通わせてもらっています。が、これほどに人の情け、優しさを感じたことはありません。本当にみなさんが温かく接して下さってありがたく思っています。今心が弱くなっています。どうか皆さん支えてください。

妻は亡くなってしまい、もう会うことはできませんが、きっと私を見守っていてくれると思います。



平成26年4月、新婚旅行での1枚

だから私は前を向いて今日出来ることを精一杯やっていこうと思います。辛く長い闘病生活だったけど、その分愛や絆が深まりました。その妻が迎えにきてくれるその日まで、残された人生を一生懸命生きようと思います。

『生まれ変わったら、また結婚しよう。ゆうちゃん♡』

\* 「大桃ご夫妻は平成25年12月から週一回のペースで利用が始まりました。翌年3月にご結婚され、4月には新婚旅行へ。しかし幸せの最中、妻・由里恵さんが癌を告げられてから二人の闘病生活となり、二人ともとんとは休んでいました。新婚の幸せ気分の時、春彦さんが描いた夢のある絵（『音符にのって』）が、すぐカフェ2Fの壁にかかっています。

### 平成26年度 桐鈴会 苦情件数

平成26年度 桐鈴会苦情受付件数を報告します。平成27年7月14日に苦情相談第三者委員の方と苦情処理委員会を開催する予定です。今後も個々の苦情に対し、適切な対応ができるように職員研修の充実・情報伝達の正確さを図っていきます。

施設・苦情	鈴懸	おはよう	桐の花	とんとん	おひさま	ひまわり	計
サービス内容	1	1	0	1	0	0	3
職員対応	0	2	0	0	0	0	2
金銭管理	0	0	0	0	0	0	0
制度・規則	0	0	0	0	0	0	0
設備・建物	1	0	0	0	1	1	3
利用者トラブル	2	0	0	0	0	0	2
計	4	3	0	1	1	1	10

### 編集後記

早いもので7月…。1年の折り返し地点を通過して真夏の到来です。

7月といえば梅雨明け。ホタル見物にクワガタ捕り。七夕様に川遊び。冷たいビールにアイスクリーム、食べ放題のスイカにメロン。甘いトマトにトウモロコシ。カリカリ胡瓜に絶品の茄子漬…そう考えると、この魚沼の地は大変恵まれていますね。全ての条件が整っています。栃木から魚沼にお嫁にきて良かった！栄養補給をしつかりとして、暑さ負けない身体づくりをしていきましょう。

そして7月24日は桐鈴会最大イベントである夏祭りを開催いたします。芸達者のあの人々が、あんな事やこんな事、そんな事までするそうです(笑)。

どうぞお楽しみ♡  
ご近所お誘い合わせの上お出かけくださいませ。スタッフ一同皆様とお会いできるのを楽しみにしております。



(駒形幸江)



平成26年度 社会福祉法人桐鈴会 決算状況

資金収支計算書

(自) 平成26年4月1日 (至) 平成27年3月31日

(単位: 円)

勘定科目		予算 (A)	決算 (B)	差異 (A)-(B)
事業活動による収支	収入			
	介護保険事業収入	66,889,000	66,960,289	△ 71,289
	老人福祉事業収入	59,689,000	59,688,468	532
	就労支援事業収入	10,310,000	10,291,474	18,526
	障害福祉サービス事業収入	57,633,500	57,693,530	△ 60,030
	ショートステイ事業収入	1,748,000	1,772,070	△ 24,070
	経常経費寄附金収入	11,840,000	11,840,000	0
	受取利息配当金収入	13,560	12,942	618
	その他の収入	3,679,950	3,684,021	△ 4,071
	事業活動収入計 (1)	211,803,010	211,942,794	△ 139,784
	支出			
	人件費支出	135,347,230	135,250,095	97,135
	事業費支出	35,529,166	35,098,943	430,223
事務費支出	21,268,349	20,786,521	481,828	
就労支援事業支出	9,979,000	9,867,327	111,673	
支払利息支出	485,159	483,427	1,732	
その他の支出	2,589,000	2,584,700	4,300	
事業活動支出計 (2)	205,197,904	204,071,013	1,126,891	
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	6,605,106	7,871,781	△ 1,266,675	
設備整備等による収支	収入			
	施設整備等補助金収入	2,259,000	2,259,000	0
	設備資金借入金収入	3,240,000	3,240,000	0
	設備整備等収入計 (4)	5,499,000	5,499,000	0
	支出			
設備資金借入金元金償還支出	6,756,000	6,756,000	0	
固定資産取得支出	9,438,249	9,438,097	152	
設備整備等支出計 (5)	16,194,249	16,194,097	152	
施設整備等資金収支差額 (6)=(4)-(5)	△ 10,695,249	△ 10,695,097	△ 152	
その他の活動による収支	収入			
	積立資産取崩収入	6,147,500	6,147,500	0
	拠点区分間繰入金収入	13,337,168	0	13,337,168
	その他の活動収入計 (7)	19,484,668	6,147,500	13,337,168
	支出			
	積立資産支出	3,687,500	3,687,500	0
	拠点区分間繰入金支出	13,337,168	0	13,337,168
その他の活動による支出	129,780	129,780	0	
その他の活動支出計 (8)	17,154,448	3,817,280	13,337,168	
その他の活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)	2,330,220	2,330,220	0	
予備費支出 (10)	0	0	0	
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△ 1,759,923	△ 493,096	△ 1,266,827	
前期末支払資金残高 (12)	44,069,346	44,069,346	0	
当期末支払資金残高 (11)+(12)	42,309,423	43,576,250	△ 1,266,827	

事業活動計算書

(自) 平成26年4月1日 (至) 平成27年3月31日

(単位: 円)

勘定科目		当年度決算
サービス活動増減の部	収益	
	介護保険事業収益	66,960,289
	老人福祉事業収益	60,318,468
	就労支援事業収益	10,291,474
	障害福祉サービス事業収益	57,693,530
	ショートステイ事業収益	1,772,070
	経常経費寄附金収益	11,840,000
	サービス活動収益計 (1)	208,875,831
	費用	
	人件費	135,250,095
	事業費	35,098,943
	事務費	20,842,381
	就労支援事業費用	10,301,587
減価償却費	34,835,350	
国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 19,429,266	
サービス活動費用計 (2)	216,899,090	
サービス活動増減差額 (3)=(1)-(2)	△ 8,023,259	
サービス活動外増減の部	収益	
	受取利息配当金収益	12,942
	その他のサービス活動外収益	3,684,021
	サービス活動外収益計 (4)	3,696,963
	費用	
支払利息	483,427	
その他のサービス活動外費用	2,584,700	
サービス活動外費用計 (5)	3,068,127	
サービス活動外増減差額 (6)=(4)-(5)	628,836	
経常増減差額 (7)=(3)+(6)	△ 7,394,423	
特別増減の部	収益	
	施設整備等補助金収益	2,259,000
	特別収益計 (8)	2,259,000
	費用	
国庫補助金等特別積立金積立額	2,259,000	
特別費用計 (9)	2,259,000	
特別増減差額 (10)=(8)-(9)	0	
当期活動増減差額 (11)=(7)+(10)	△ 7,394,423	
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額 (12)	82,107,787
	当期末繰越活動増減差額 (13)=(11)+(12)	74,713,364
	基本金取崩額 (14)	0
	その他の積立金取崩額 (15)	5,517,500
	その他の積立金積立額 (16)	170,000
次期繰越活動増減差額 (17)=(13)+(14)+(15)-(16)	80,060,864	

貸借対照表

(自) 平成26年4月1日 (至) 平成27年3月31日

(単位: 円)

	当年度末	前年度末	増減
資産の部			
流動資産	52,800,946	86,415,382	△ 33,614,436
固定資産	517,737,236	546,857,327	△ 29,120,091
(基本財産)	463,105,356	491,775,849	△ 28,670,493
(その他の固定資産)	54,631,880	55,081,478	△ 449,598
資産の部合計	570,538,182	633,272,709	△ 62,734,527
負債の部			
流動負債	15,124,956	48,994,036	△ 33,869,080
固定負債	82,874,500	86,303,000	△ 3,428,500
負債の部合計	97,999,456	135,297,036	△ 37,297,580
純資産の部			
基本金	158,259,500	158,259,500	0
国庫補助金等積立金	228,365,862	246,408,386	△ 18,042,524
その他の積立金	5,852,500	11,200,000	△ 5,347,500
次期繰越活動増減差額 (うち当期活動増減差額)	80,060,864 (△ 7,394,423)	82,107,787 (△ 25,420,989)	△ 2,046,923 (18,026,566)
純資産の部合計	472,538,726	497,975,673	△ 25,436,947
負債及び純資産の部合計	570,538,182	633,272,709	△ 62,734,527

社会福祉事業区分

- ・ 本部拠点区分
- ・ ケアハウス鈴懸拠点区分
- ・ 鈴懸おはようヘルプ拠点区分
- ・ グループホーム桐の花拠点区分
- ・ グループホームひまわり拠点区分
- ・ 工房とんとん拠点区分
- ・ ケアホームおひさま拠点区分

公益事業区分

- ・ ショートステイルーム拠点区分

※26年度決算書類の詳細はケアハウス鈴懸・事務所  
所に常備してあります。ホームページ(メニュー  
「情報公開」)にも掲載してあります。

<http://www.tourekai.com/>

# 桐鈴会 夏まつり

◆ケアハウス鈴懸 ◆グループホーム桐の花 ◆工房とんとん  
◆グループホームひまわり ◆ケアホームおひさま



日時 平成27年7月24日(金) 18:00~20:30

場所 ケアハウス鈴懸駐車場(雨天中止)

出し物 各事業所によるお楽しみ 子ども太鼓

(歌あり、踊りあり…)、盆踊り

屋台店 ○焼きそば、棒お好み焼き、冷うどん、唐揚げ、

おにぎり、わたあめ、生ビール、ソフトドリンク

○ヨーヨー&スーパーボールすくい、ボーリング(賞品あり)

★屋台はチケット制です。(100円券、50円券)

○工房とんとんパン販売(現金)



H27.7.24  
ソフトドリンク  
無料券  
1枚につき1杯